



希望橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

小中合同あいさつ運動

11月12日(火)～15日(金)

毎年、小学校との連携事業として「小中合同あいさつ運動」を実施しています。潟東小学校との併設校舎になって、この事業も4年目となりました。今年度は、11月12日(火)～15日(金)の4日間で実施しました。普段は、小学校・中学校それぞれの玄関前で、委員の子どもたちがあいさつ運動をしていますが、運動期間中は、中学生が両校玄関前広場で、小学生が中学校生徒玄関前と玄関ロビー内であいさつを行いました。



全国学力・学習状況調査から〔生徒の意識調査〕

毎年4月、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、文部科学省が全国学力・学習状況調査を実施します。学力調査だけでなく、生活意識等の調査も同時に行います。新潟市教育委員会が、教育施策に関する抽出項目について、新潟市の中学3年生の意識実態の分析を行った結果を公表しましたので、当校3年生と比較して傾向を分析しました。

【数値は肯定的評価】

	質問内容	潟東中3年	新潟市
1	将来の夢や目標をもっている	65.8%	65.4%
2	自分にはよいところがある	92.1%↑	84.3%
3	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりした	86.1%	86.4%
4	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	97.4%↑	78.6%
5	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う	80.6%↓	86.4%
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.4%	96.1%
7	1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどICTをどの程度利用したかについて「週1回以上」と回答した割合	97.4%	98.4%

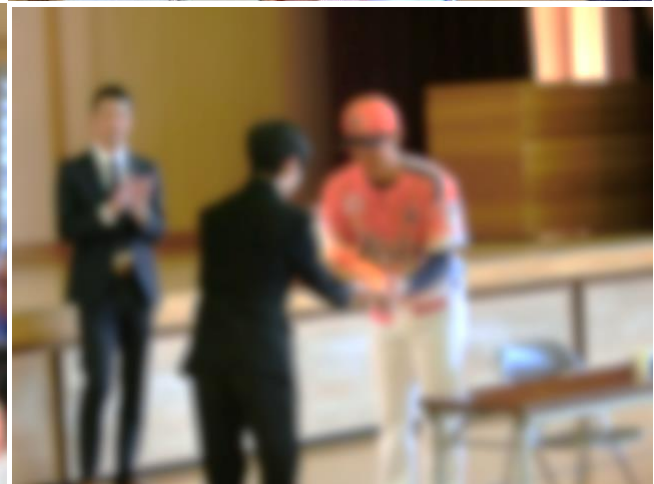
No.4「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の項目は、新潟市平均より18.8ポイント高くなっており、市内でもトップクラスと言えます。ほぼ全員の生徒が、潟東地域に愛着をもち、地域貢献をしてきたことの現れだと考えます。また、No.2「自分にはよいところがある」の項目は、新潟市平均より7.8ポイント高くなっています。様々な活動を通して、多くの生徒の自尊感情や自己肯定感が高まっている現れだと思えます。

一方、No.5「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」は、新潟市平均より5.8ポイント低い結果でした。しかし、80.6%は決して低い値ではありません。学習に限らず、日常の委員会活動や部活動を通して、さらに主体的な取組を意識させていく必要があると感じています。

P T A 事業部講演会

11月13日(水)

11月13日(水)、オイシックス新潟アルビレックスベースボールクラブ所属の笠原祥太郎選手を招いて、講演会を行いました。『目指す未来に向かって～私が大切にしていること～』というタイトルのお話いただきました。生徒たちは、自分のこれからの「未来」や「生き方」、「なりたい自分の姿」などを考える絶好の機会となりました。P T A事業部の皆様、貴重な機会を設定していただいたことに感謝いたします。また、お忙しい中ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



進路説明会

11月14日(木)

11月14日(木)、来年度の高校入試に関わる「進路説明会」を行いました。昨年度から、公立高校入試がWEB出願方式になり、今年で2年目となります。専用サイトへのアクセス方法やマイページの作成などについても、今後のスケジュールが示されました。近隣の公立高校では、県立巻高校・普通科、県立新潟中央高校・普通科、県立白根高校・普通科がそれぞれ1学級減(定数40人減)となりました。また、県立三条高校は、普通科を1学級減らし、新たに理数科を設けて理数科内にメディカルコースを設置することになりました。

私立高校では、これまで同日入試だった新潟第一高校(今年度は1/30, 31)と新潟明訓高校(今年度は2/4, 5)が別々の日程で入試を行うため、両方を受験できるようになりました。この他、通信制課程の拡大など、様々な入試形態、コース設定などで、進路選択の幅が広がりました。高校に入ることが目的ではなく、高校3年間を通して、どのように自己実現するかが大切です。受験は一人一人の『個人戦』ですが、学年全体で受験に向かう雰囲気づくりは『団体戦』です。一体感をもって頑張ってもらいたいと思います。

